

診療科		月	火	水	木	金	備考
内科	1診	大森 拓	大杉 和生	伊藤 弘将	今川 竜二	第1,3,5週 仁儀 第2,4週 紀南病院医師	ペース メーカー 第1月曜日 小藪 助成
	2診	吉澤 尚彦				川崎 優也	
	循環器内科(予約)		大森 拓	小藪 助成	世古口 茂幸	大杉 和生	
内科(呼吸器)(午後予約)			畑地 治 (第4週)				
内科(腹膜透析)(予約)			小藪 助成				
内科(透析センター)		大杉 和生	小藪 助成	大杉 和生	大杉 和生	小藪 助成 第2,4週午前 仁儀 明納	
カテーテル検査					大森・伊藤 佐藤		
健康診断		小藪 助成				藤川 勝彦	
外科	1診	武内 泰司郎	加藤 弘幸	加藤 弘幸	加藤 弘幸	阪本 達也	
	2診		阪本 達也				
	3診(予約)		水野 修吾 (第2・第4週)				
乳腺外来(第1月曜14時半~予約制)		三重大学 小川教授					
胃カメラ(検査のみ)		阪本 達也			消化器内科医師	加藤 弘幸	
大腸内視鏡(検査のみ)		外科医師			消化器内科医師		
整形外科	初診	横山 弘和	村田 耕一郎	●横山 弘和	村田 耕一郎	三重大学医師	●10時~ 診察開始
	再診	村田 耕一郎	横山 弘和	●村田耕一郎	横山 弘和	村田 耕一郎	
	再診					横山 弘和	
小児科	午前	川口 寛	川口 寛	川口 寛	川口 寛	川口 寛	
	午後(予約)	ワクチン外来	慢性外来	ワクチン外来		乳児健診	
産婦人科		野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	
耳鼻咽喉科				坂井田 寛	今西 義宜		
眼科		玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	木曜日 第1週目のみ 三重大学医師
皮膚科	午前	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	
	午後 (13時半~15時半受付)			前田 吉民			
泌尿器科		吉尾 裕子	佐谷 博之	佐谷 博之	佐谷 博之	佐谷 博之	
放射線科(予約制)						三重大学 野本教授 (第4週)	
精神科(小児のみ)(予約制)			(第4週) 大槻 一行			(第2週) 中西 大介	
神経内科(予約制)				三室 マヤ		伊井 裕一郎	
脳神経外科			柄尾 廣		田中 公人		

※学会等で休診または代診になる場合がありますので、お問い合わせください。

みなさまの声をお聞かせください

本誌へのご感想やご意見、ご要望などございましたら、院内に設置されている患者さんの声に投稿いただくか、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先：
尾鷲総合病院 病院総務課 総務係
owase-hp@city.owase.lg.jp
TEL 0597-22-3111



病院の理念

- 高度医療に対応できる東紀州地域の中核病院
- 地域の保健・医療・福祉との連携を促進し、地域の人々と共に創る病院
- 患者様に信頼され、いつでも安心して受診していただける患者様主体の総合病院
- 教育、研修機能を持つ病院
- 質の高い医療技術とサービスを提供する病院
- 職員一人ひとりが、病院の将来ビジョン・経営について考える病院

発行/尾鷲総合病院
編集/尾鷲総合病院
編集協力/TCK Nagoya
所在地/三重県尾鷲市上野町5番25号
TEL/0597-22-3111
FAX/0597-23-3285
ホームページ/http://owasehp.jp

おせ+プラス

第19号

2019.1月発行

ホットとプラス

最新情報

「アメニティの向上」第4弾

総合受付カウンターテーブルなどを新調しました。

みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、2階ロビーの総合受付カウンターテーブル、相談窓口カウンター、書類記入用テーブル、パンフレットラック、処方箋受付カウンター、暖房器具目隠しボックスなど、尾鷲ヒノキを使い新調いたしました。

木のぬくもりと香りを感じ、外来患者さんや入院患者さん、来院者の皆さまの癒しの空間になればと思います。



▲総合受付カウンターテーブル



▲相談カウンター



▲書類記入用テーブル



▲暖房器具目隠しボックス

▲処方箋受付カウンター

病院長より新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。この平成から新たな時代への幕開けとなる新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また日頃より皆さまから尾鷲総合病院へのご理解ご協力を頂き、心より厚くお礼申し上げます。

平成の30年余りの間に、東紀州地域は、熊野尾鷲道路、紀勢自動車道と高速道路の延伸に伴い、交通の便が一見良くなったように思いますが、少子高齢化が進み若年層の人口が流出し、人口の減少に拍車がかかっていることは否定できない事実となっております。また長い間、尾鷲の経済活動の一つであった中部電力の撤退が決まり、尾鷲のシンボルの一つでもあった中部電力の煙突の撤去が開始されようとしており、新しく地域の活性化を模索しなければ、この地域が衰退していくことは必至と思われま

す。現在、日本全体のライフスタイルが家族から個人へとシフトしており、結果、超高齢化に加えて高齢者世帯、あるいは独居が増加しているのが現状で、それに伴い医療のニーズも少しずつではありますが変化してきています。

日本は地域医療構想として、2025年を目途に病床数の見直しが進んでおり、病床数は高度急性期、急性期、回復期、慢性期と区分し、それぞれの地域での必要ベッド数を算出し病床の適正化を進めております。それによりますと、現状では、紀南地区を含む東紀州地区で約30%の病床が過剰となっており、内訳



病院長
小藪 助成

では慢性期が過剰で、回復期が不足しているとされております。また東紀州地区は、人口の減少により既に病床需要のピークは過ぎており、今後、需要は減少すると予想されています。

このような医療における環境変化に対応すべく、今春より尾鷲総合病院では、療養病棟から地域包括ケア病棟へと転換を進める準備をしております。

地域包括ケア病棟とは、自治体を中心に進めている地域包括ケアの一翼を担うものであって、今後、当地区の高齢化の進行に合わせ、医療体制の変化も必要と考えております。

今後も市民の皆様の健やかな生活を守るべく、スタッフ一同努力して参りますのでよろしくお願い致します。



「地域包括ケア病棟を開設します」

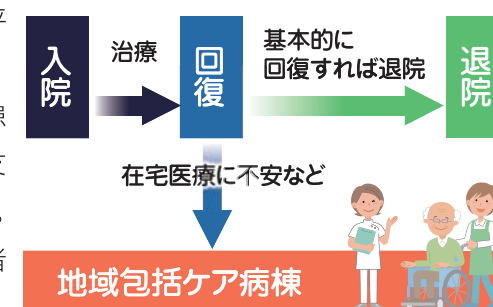
当院では、地域医療への貢献を目指し、地域包括ケア病棟を平成31年4月より開設する予定です。(療養病棟からの変更)

地域包括ケア病棟とは、急性期治療を終え、症状が安定した患者さんに対して、在宅療養への復帰支援に向けた医療や看護、支援を行う病棟です。入院期間は原則60日以内となっております。

病棟ではそれぞれの患者さんにあった機能回復を目標に、患者さんやご家族が望む形での退院を可能な限り支援していきます。

医師、看護師、リハビリスタッフ、社会福祉士等が協力し、地域の介護施設等とも連携して、患者さんの退院支援・退院後のケアについてサポートさせていただきます。

職員一同、患者さんご家族の皆様へ寄り添い、力を合わせて頑張りますので、よろしくお願い致します。



活動報告

尾鷲総合病院 運営懇話会

平成30年11月19日(月)尾鷲総合病院5階講義室において、病院運営懇話会が開催されました。尾鷲市長を会長とし、委員には各種団体の代表20名(当日1名欠席)が出席。病院の現状と経営改革を報告し、委員からの意見を聞き協力を求めました。

今回は、平成22年1月の第10回の懇話会を最後に8年10ヶ月ぶりの開催となりましたが、今後は年1回開催していく予定です。



▲懇話会の模様

DPC (診断群分類包括評価) 制度とは?

尾鷲総合病院では、平成32年4月より、DPC制度の導入を予定しています。

DPC(診断群分類包括評価)制度とは、厚生労働省により、医療の質の標準化を図ることを目的として全国の急性期病院を中心に導入が進められている制度です。

現在、尾鷲総合病院では「出来高払い」という、実施した診療内容(入院基本料、検査、投薬、注射、レントゲンなど)を積み上げる方法で入院費を計算しています。これに対して、DPCとは「Diagnosis(診断)/Procedure(診療行為)/Combination(組み合わせ)」の略で、主となる疾患や診療内容(診断群分類)によって定められた1日当たりの料金を基に医療費の計算をする「包括払い制度」のことをいいます。

これにより、1日当たりの入院費(包括評価部分)と従来どおりの出来高評価部分(手術、胃カメラ、リハビリなど)の組み合わせで計算する方法です。

外来の患者さんについては、これまで通りの出来高での計算方法です。